

(仮称) 新西図書館基本計画

平成 30 年 1 2 月

神戸市

目次

はじめに.....	1
第1章 西図書館の現状と図書館をとりまく社会的動向.....	2
1. 西神ニュータウンの誕生と西図書館開館	
2. 現在の西図書館	
3. 美賀多台1丁目における新図書館の建設	
4. 図書館をとりまく社会的動向	
(参考) 西区の概要	
第2章 市民ニーズの把握.....	5
1. 市民満足度調査結果からみる西図書館の利用	
2. 新しい西図書館についての来館者及び地域でのアンケート	
(1) 来館者アンケート	
(2) 地域でのアンケート	
第3章 (仮称)新西図書館整備検討会.....	14
1. 検討会委員名簿	
2. 検討会開催記録	
3. 検討会での意見の整理	
第4章 (仮称)新西図書館整備に必要な視点.....	16
第5章 (仮称)新西図書館コンセプト・基本方針.....	17
1. コンセプト	
2. 基本方針と機能	
(1) 市民の暮らしと、生涯にわたっての学びを支える図書館	
(2) 青少年や子育て世代が利用しやすい図書館	
(3) 集い、共に学び、地域をつなぐ図書館	
(4) 西区の歴史や文化、魅力を伝える図書館	
(5) 文化・芸術を身近に感じられる図書館	
第6章 新しい図書館に求められる規模と機能.....	19
1. 規模	
2. 機能・設備等	
3. 機能と音のゾーニング	
今後に向けて.....	20

はじめに

西神中央のセンターエリアは、神戸市の西部地域はもちろんのこと、東播地域を含むエリアにおける商業・業務・文化などの都市機能の拠点として、これまでのまちづくりが進められてきました。この拠点性をさらに高めるため、かねてより要望のあった本格的な文化・芸術のためのホールの新設と機能拡充した図書館の建設が進められることになりました。この複合事業のプロジェクトは、民間のノウハウを活用した公設民営方式で進めることになっており、今後、事業コンペが予定されています。

この取り組みにより、住環境や西神エリアのブランド力の向上につながることを期待されています。図書館もこれを機に、従来からの課題であった区民の読書環境向上を目指した整備を行います。

この「（仮称）新西図書館基本計画」は、図書館の基本的な方向性や機能を示すものです。プロジェクトの進捗にともない、今後も市民の意見を聴取し、サービス内容について、より具体的な検討を行ってまいります。

第1章 西図書館の現状と図書館をとりまく社会的動向

1. 西神ニュータウンの誕生と西図書館開館

西区に広がる西神ニュータウンは、昭和45年に策定された「マスタープラン」に基づき、昭和47年から本格的な造成工事が開始されました。昭和57年3月からは、西神ニュータウンへの入居が始まり、昭和61年の市営地下鉄の延伸以降は急速に駅周辺の整備が進みました。病院やショッピングモールなどのインフラ整備が行われるとともに、ニュータウンの人口が急激に増加しました。

そのような状況のなかで、昭和57年8月、西区は垂水区から分区します。新たに誕生した西区内には、既に伊川谷町潤和の西神文化センター内に図書館機能としての西神分室がありましたが、西神ニュータウンに西区民センターが設置されるのに合わせて、平成元年4月に、同センター1階に移転開館しました。立地条件の良さや、地域住民の読書需要の高さから利用は伸び、現在に到っています。

2. 現在の西図書館

西図書館の延床面積は703㎡と市内の他の地域図書館に比べて小さく、平成25年に移転開館した東灘図書館(1,485㎡)の半分です。区の人口千人あたりの面積で比較すると、市内最小の2.9㎡となります。西図書館が開館した平成元年当時は、図書館でゆっくり本を読んでもらうというよりも、たくさん借りて帰っていただくことを重視しており、面積がそれほど広くなくても駅の近くの便利な場所に建設することを優先しました。

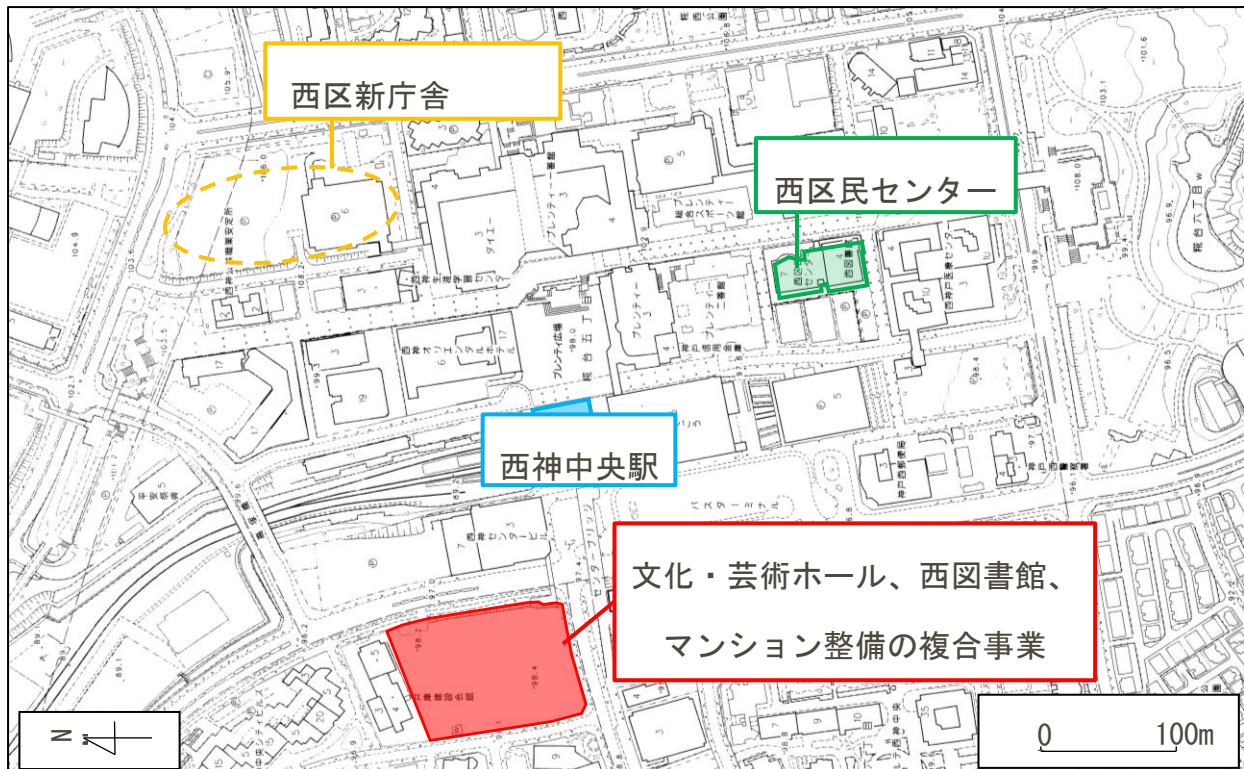
実際の利用においては、平成29年度の西図書館の貸出冊数は88万3,908冊、貸出人数は28万3,259冊と、いずれも地域図書館の中で2番目の多さです。借りたい図書を他の図書館から取り寄せたり、貸出中のものの返却を待って借りたりする「予約」による貸出は、全貸出冊数のうちの26%にあたる22万9,768冊です。

日曜日のカウンターは、予約本や自分が本棚から見つけてきた図書の貸出を受ける人、借りていた本を返す人で大変込み合い、館内に長い列ができるという状態です。

このような状況から、西図書館の拡充については、多年の間、多くの要望をいただきました。

3. 美賀多台1丁目における新図書館の建設

西区の新庁舎が西神中央に移転整備されることを機に、この地域の拠点性をさらに高めるため、かねてより要望のあった音楽や舞台芸術の西の拠点となるような本格的な文化・芸術ホールの新設と、機能拡充した図書館の建設が進められることとなりました。開発・設計・建築工事までの全てを担う民間事業者の公募を実施する予定です。



【位置図】

【建設用地】 西区美賀多台 1 丁目

面積：約 12,000 m²（文化・芸術ホール用地、図書館用地、住宅用地合計）

用途地域：第 2 種住居地域

高度制限：第 5 種高度地区（高さ制限 31m 以下）

建ぺい率：60%

容積率：300%

4. 図書館をとりまく社会的動向

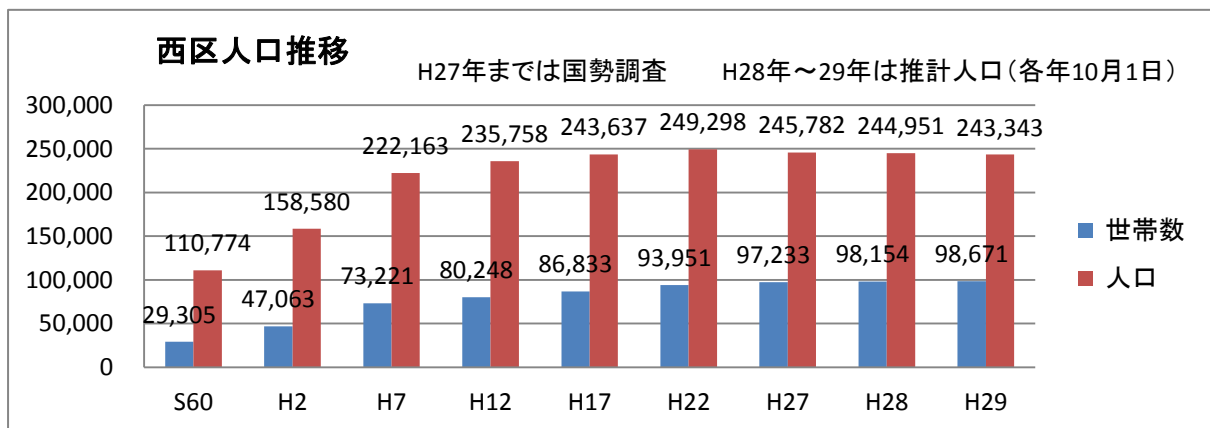
公共図書館サービスは、1950 年代から 70 年代の保存や管理に重きを置いた時代から、1970 年代から 90 年代の貸出サービス・児童サービス重視の時代、1990 年代以降の電算化・省力化の時代を経て、2010 年以降には、課題解決サービスやまちづくりへの寄与の時代へと、少しずつ変容してきました。現在、公共図書館は、地域の情報拠点、生涯学習支援、市民活動支援、まちづくりの核、複合施設における賑わいづくりなど、さまざまな観点から、地域や住民にとって役に立つ図書館であることが求められています。また、施設的には、居心地のよい広い空間でゆっくりと本を読む「滞在型図書館」、著名な建築家による美しい図書館などが話題になっています。

このような動向のなか、新しい西図書館に求められているものは何か、市民ニーズ等をもとに考えていきます。

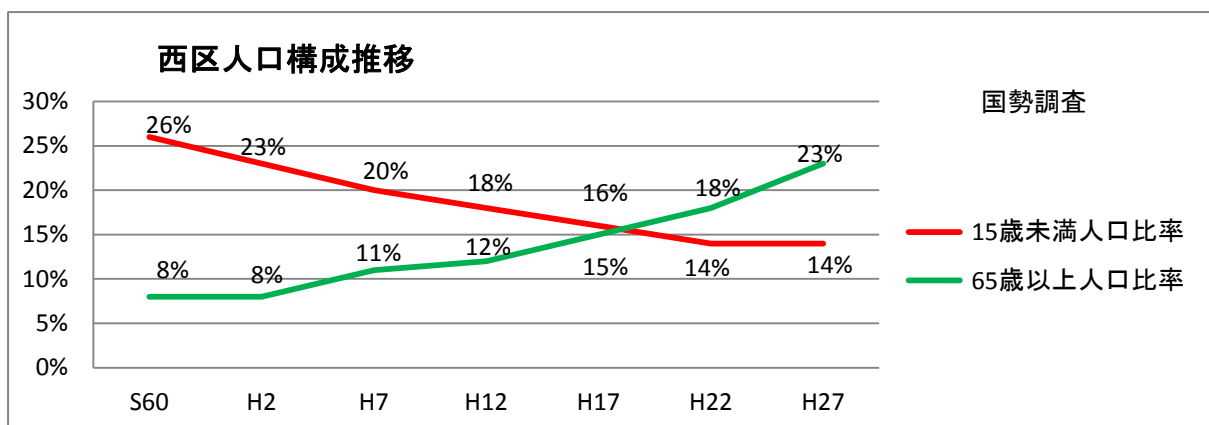
(参考) 西区の概要

西区は昭和 57 年 8 月 1 日に、伊川谷町、櫛谷町、押部谷町、玉津町、平野町、神出町、岩岡町の 7 町をもって、垂水区から分区し誕生しました。分区当時の人口は、9 区の中で最も少ない約 9 万 4 千人でしたが、西神ニュータウン・学園都市・西神南ニュータウンなどの建設や、玉津町・伊川谷町・岩岡町における区画整理事業などによって、現在の人口は市内最多となっています。面積は 138.01 平方キロメートルと、北区に次いで市内 9 区中 2 番目の広さです。

自然環境に恵まれた緑豊かな西区では、農業が盛んにおこなわれているのに加え、西神工業団地や神戸複合産業団地などの開発により、工業が産業に占める割合も大きくなってきています。また、学園都市を中心に 6 大学 1 高専が立地しているほか、神社仏閣や伝統芸能などの文化資源も多く有しており、「住み」「働き」「学び」「憩う」まちづくりが進められています。
(「西区計画」(2016~2020) から転載)



- ・世帯数は増加しているが、人口は平成 22 年をピークに減少し、人口減少社会が進んでいる。



- ・15 歳未満人口比率が減少し、65 歳以上人口比率が増加しており、少子高齢化が進んでいる。

第2章 市民ニーズの把握

「（仮称）西図書館基本計画（案）」を作成するにあたって、市民ニーズの把握のため、毎年1回実施している市民満足度調査に加え、「新しい図書館に関するアンケート」調査を行いました。

市民満足度調査の結果について、他の地域図書館と比較してみると、現在の西図書館の利用者が、読書に対して高い要望を持ちながら、施設規模の小ささから、短い時間での利用を余儀なくされていることが見て取れます。

「新しい図書館に関するアンケート」は、来館者と地域の方々に対して、それぞれ新しい図書館に必要と思われるものを尋ねたものです。来館者からも地域の方々からも、余裕のあるスペースや読書のためのイス、学習のための机などの読書環境の向上と、豊富な本や雑誌、専門書など蔵書の充実を望む声が多くありました。

1. 市民満足度調査結果からみる西図書館の利用

平成29年11月29日（木曜）実施。 703枚配布、590枚回収。

- ・年代別では、10代、20代の利用は1%台。50代の利用はやや多い。60代の利用率は地域図書館の中で最も高い。

29年度	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70歳以上	無回答	計(%)
中央	9.2%	9.7%	9.4%	14.3%	13.7%	23.7%	19.7%	0.5%	100.0%
東灘	7.0%	3.7%	11.3%	16.0%	13.3%	21.4%	26.7%	0.6%	100.0%
灘	3.1%	3.9%	11.3%	16.6%	14.4%	23.2%	26.9%	0.5%	100.0%
三宮	1.4%	5.3%	9.8%	18.8%	17.7%	25.9%	20.5%	0.6%	100.0%
兵庫	0.3%	2.9%	9.5%	14.7%	16.1%	27.7%	28.2%	0.6%	100.0%
北	14.3%	2.2%	3.9%	10.0%	8.3%	26.1%	35.2%	0.0%	100.0%
北神	14.4%	3.4%	7.3%	14.7%	14.1%	21.5%	24.3%	0.3%	100.0%
新長田	1.1%	2.3%	9.1%	14.3%	18.1%	27.5%	27.5%	0.0%	100.0%
須磨	1.8%	1.8%	8.8%	18.0%	11.4%	26.8%	30.3%	1.3%	100.0%
垂水	1.3%	3.0%	7.1%	15.7%	14.8%	24.3%	32.8%	1.1%	100.0%
西	1.0%	1.4%	5.6%	15.3%	17.5%	30.8%	28.1%	0.3%	100.0%
全館	4.5%	4.0%	8.7%	15.6%	14.9%	25.2%	26.5%	0.6%	100.0%

・来館頻度が1週間に1回以上の方の割合が高い

29年度	ほぼ毎日	2～3日に1回	週1回	2週に1回	月に1回	年に数回	初めて	無回答	計(%)
中央	8.7%	16.0%	21.3%	29.0%	11.7%	10.2%	1.4%	1.6%	100.0%
東灘	5.7%	16.6%	24.8%	34.1%	8.6%	7.2%	1.4%	1.4%	100.0%
灘	5.4%	12.3%	26.8%	34.5%	14.3%	5.3%	0.8%	0.7%	100.0%
三宮	4.3%	18.2%	29.7%	27.6%	11.2%	6.4%	1.7%	0.9%	100.0%
兵庫	6.1%	16.7%	30.0%	31.1%	10.7%	4.3%	1.2%	0.0%	100.0%
北	7.8%	10.9%	25.7%	32.2%	12.2%	9.1%	0.9%	1.3%	100.0%
北神	4.8%	13.6%	25.4%	35.0%	11.6%	8.2%	0.3%	1.1%	100.0%
新長田	10.2%	16.6%	22.3%	32.5%	9.8%	6.8%	1.1%	0.8%	100.0%
須磨	7.5%	13.6%	26.3%	34.2%	10.5%	5.3%	0.9%	1.8%	100.0%
垂水	5.5%	14.2%	27.9%	32.0%	10.6%	6.9%	1.7%	1.3%	100.0%
西	6.3%	16.8%	33.1%	27.6%	9.2%	5.4%	0.8%	0.8%	100.0%
全館	6.3%	15.3%	27.0%	31.3%	11.0%	6.8%	1.2%	1.1%	100.0%

・図書館での滞在時間は、利用者の約60%が30分以内に帰る。1時間以上滞在する利用者は10%以下。垂水と並んで利用者の滞在時間が短い。

29年度	15分未満	15分から30分未満	30分から1時間未満	1時間から3時間	3時間以上	無回答	計(%)
中央	4.3%	18.1%	31.1%	32.2%	12.4%	1.9%	100.0%
東灘	11.9%	30.2%	33.7%	17.0%	5.7%	1.4%	100.0%
灘	15.8%	39.4%	30.7%	13.0%	0.3%	0.8%	100.0%
三宮	22.4%	31.8%	29.0%	14.8%	1.4%	0.6%	100.0%
兵庫	17.9%	30.5%	34.6%	15.0%	1.4%	0.6%	100.0%
北	10.9%	28.7%	29.6%	19.1%	10.4%	1.3%	100.0%
北神	13.6%	35.3%	31.6%	14.4%	4.8%	0.3%	100.0%
新長田	20.0%	30.2%	32.5%	15.5%	1.5%	0.4%	100.0%
須磨	18.4%	40.4%	29.4%	9.6%	0.9%	1.3%	100.0%
垂水	24.3%	36.5%	28.5%	8.5%	0.9%	1.3%	100.0%
西	22.7%	41.7%	25.8%	7.6%	1.4%	0.8%	100.0%
全館	16.8%	32.9%	30.3%	15.3%	3.6%	1.0%	100.0%

30分未満	30分～1時間未満	1時間以上
22.4%	31.1%	44.6%
42.1%	33.7%	22.8%
55.2%	30.7%	13.3%
54.2%	29.0%	16.1%
48.4%	34.6%	16.4%
39.6%	29.6%	29.6%
48.9%	31.6%	19.2%
50.2%	32.5%	17.0%
58.8%	29.4%	10.5%
60.8%	28.5%	9.4%
64.4%	25.8%	9.0%
49.7%	30.3%	19.0%

- ・来館目的別にみると、その短い時間内でも、予約本の受け取りだけでなく、読みたい本を探して借りている。

29年度	予約本(雑誌)の受取りのため	読みたいものを探して借りるため	本(雑誌)の返却のため	本や雑誌・新聞を読むため	調べ物をするため	その他	無回答	計(%)
中央	7.8%	23.0%	12.9%	14.3%	14.4%	15.6%	12.1%	100.0%
東灘	18.7%	18.1%	18.9%	16.6%	4.5%	8.0%	15.2%	100.0%
灘	20.0%	26.9%	22.0%	13.5%	2.6%	3.4%	11.5%	100.0%
三宮	19.7%	20.8%	20.7%	17.4%	6.2%	4.0%	11.2%	100.0%
兵庫	15.0%	21.3%	21.3%	19.3%	6.6%	2.9%	13.5%	100.0%
北	10.9%	21.3%	18.7%	13.0%	4.3%	19.1%	12.6%	100.0%
北神	16.9%	16.1%	23.2%	12.7%	4.8%	14.4%	11.9%	100.0%
新長田	14.7%	27.9%	19.6%	18.9%	3.0%	2.3%	13.6%	100.0%
須磨	19.7%	19.7%	21.5%	14.5%	3.1%	4.8%	16.7%	100.0%
垂水	21.7%	25.0%	18.7%	15.6%	3.1%	3.9%	11.8%	100.0%
西	24.2%	24.6%	23.1%	10.5%	1.9%	2.9%	12.9%	100.0%
全館	17.8%	22.6%	19.8%	15.0%	5.3%	6.9%	12.7%	100.0%

以上のことから、西図書館の利用者は多く、また決まった人が繰り返し利用している。

ただし、館が狭いためか、滞在時間は短い。短時間で読みたい本を探し、または予約本を受け取って帰る、という行動パターンの方が多いのではないかと推察される。

2. 新しい西図書館についての来館者及び地域でのアンケート

新しい西図書館の場所が美賀多台1丁目に決定したのち、西区において、アンケート調査を行いました。西図書館への来館者のほか、西区役所の協力で、連合自治会や婦人会のほか、子ども会や西神工業会など地域の方々に配布し、回答していただきました。

来館者へのアンケートの回答では、読書のためのイスや、蔵書の充実、スムーズな貸出・返却が多く望まれています。一方、地域の方々へのアンケートでは、回答者のうち約40%が現在の図書館を利用しておられませんでした。来館者へのアンケートでは要望が低かった「地元(西区)に関する資料」「大活字本」や「電子書籍や外部データベース」への要望が高いなど、未利用者が何を求めているかを考える興味深い結果となりました。

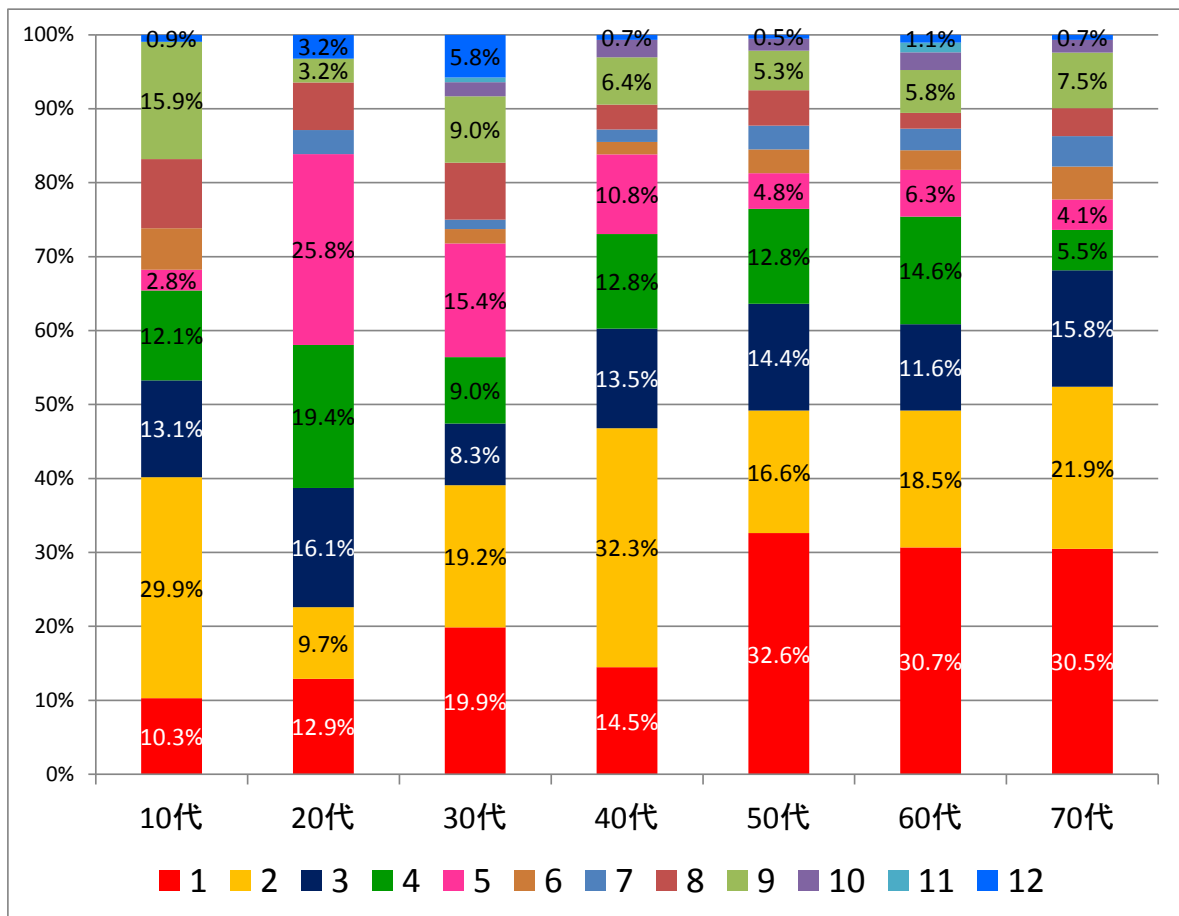
(1) 来館者アンケート 平成30年6月12日～24日実施。541枚回収。

(2) 地域でのアンケート 平成30年6月中旬から7月中旬に実施。回収は8月半ばまで。869枚回収。

(1) 来館者アンケート

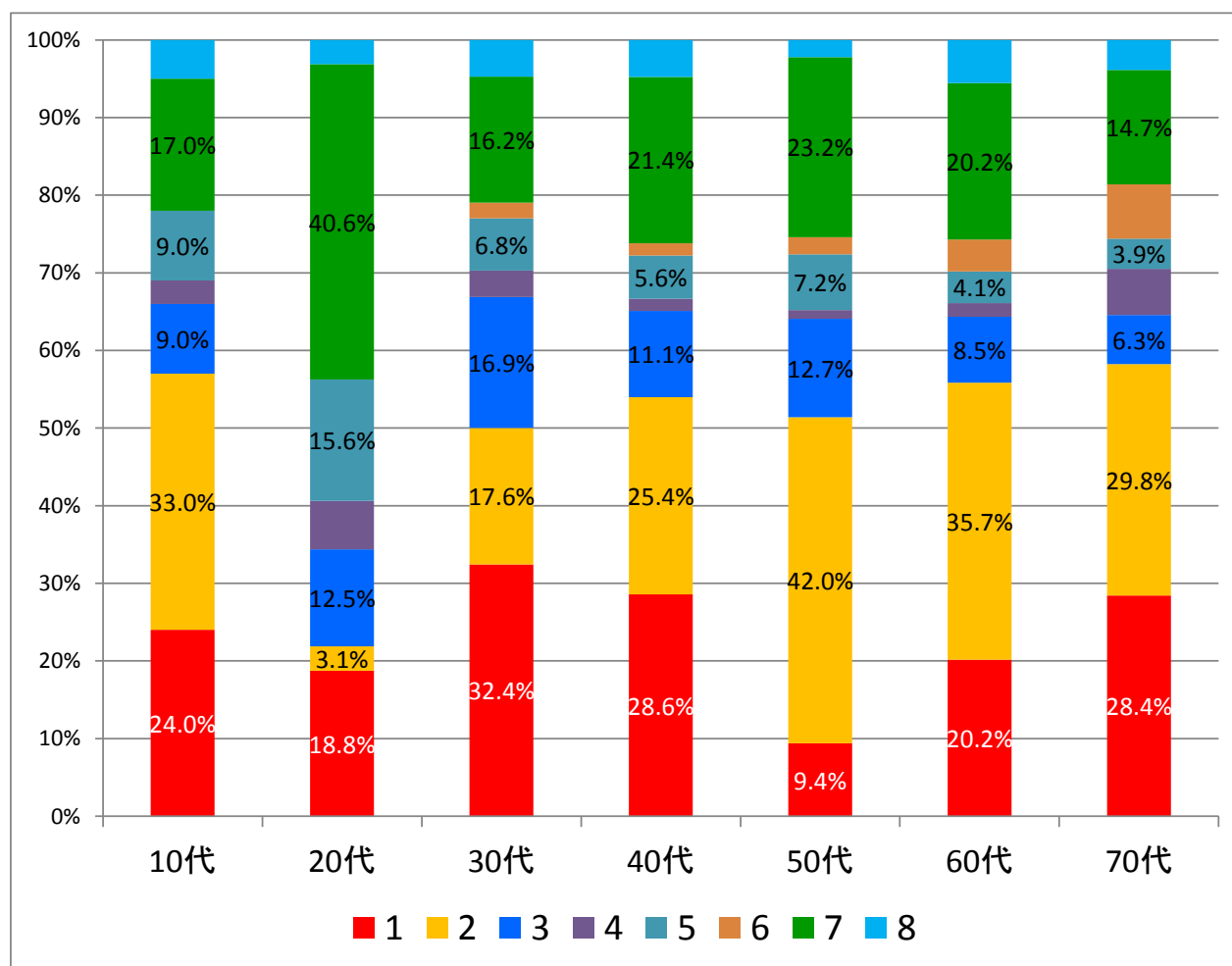
①新しい図書館の施設や設備に必要と思われるもの（3つまで選択）

		10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	不明	計
1	大勢の来館にも余裕のあるスペース	11	4	31	43	61	116	89	2	357
2	読書のためのベンチや椅子	32	3	30	96	31	70	64	4	330
3	調べものや学習するための机	14	5	13	40	27	44	46	0	189
4	静かな読書・学習環境	13	6	14	38	24	55	16	2	168
5	子供連れで気兼ねなく利用できる環境	3	8	24	32	9	24	12	0	112
6	本を介してのイベントや交流の場（セミナー室）	6	0	3	5	6	10	13	0	43
7	ボランティア活動ができるスペース	0	1	2	5	6	11	12	0	37
8	パソコン持込みスペース（Wi-Fi 設備）	10	2	12	10	9	8	11	1	63
9	飲食ができるスペース（カフェコーナー）	17	1	14	19	10	22	22	0	105
10	独立した“おはなしの部屋”	0	0	3	7	3	9	5	0	27
11	対面朗読室	0	0	1	0	0	5	0	0	6
12	授乳室・介護室	1	1	9	2	1	4	2	0	20



②新しい図書館の蔵書や利用に必要と思われるもの（3つまで選択）

		10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	不明	計
1	豊富で多様な図書	24	6	48	72	17	69	81	3	320
2	多様な雑誌や新聞	33	1	26	64	76	122	85	3	410
3	調べものに使う専門図書	9	4	25	28	23	29	18	1	137
4	地元（西区）に関する資料	3	2	5	4	2	6	17	0	39
5	電子書籍や外部データベースの利用	9	5	10	14	13	14	11	0	76
6	大活字本など	0	0	3	4	4	14	20	0	45
7	スムーズな貸出・返却（順番待行列の解消）	17	13	24	54	42	69	42	2	263
8	豊富なイベントや催しの開催	5	1	7	12	4	19	11	0	59



③来館者からの自由意見（抜粋）

A. 蔵書や資料に関するもの・・・・・・・・・・46件（17.2%）

- ・汚れている本を新しくしてほしい。汚れている本はよく読まれているということだから新しく購入してほしい。文庫本を充実してほしい（女性 60代）
- ・とにかく蔵書を増やしてほしいです（予約はできるんですけど．．．やはり）（女性 50代）
- ・蔵書がたくさん増えて興味の広がる本にたくさん出会いたいので、魅力ある図書館になることを期待します。（女性 40代）

B. 利用や運営に関するもの・・・・・・・・・・67件（24.6%）

- ・予約ではない本を借りる方が自動貸出機を使っていないのでカウンターが混みます。せつかく便利なシステムなのにもっと活用してもらいたいと思います。（女性 40代）
- ・商業用データベースが使えるように（男性 70代）
- ・いちばん下の棚を見るためにしゃがんでも通行のじゃまにならないくらいのスペースがあるとありがたい（特にすぐうしろにイスがあるところ）（女性 50代）

C. 施設や設備及び立地に関するもの・・・・・・・・・・122件（45.1%）

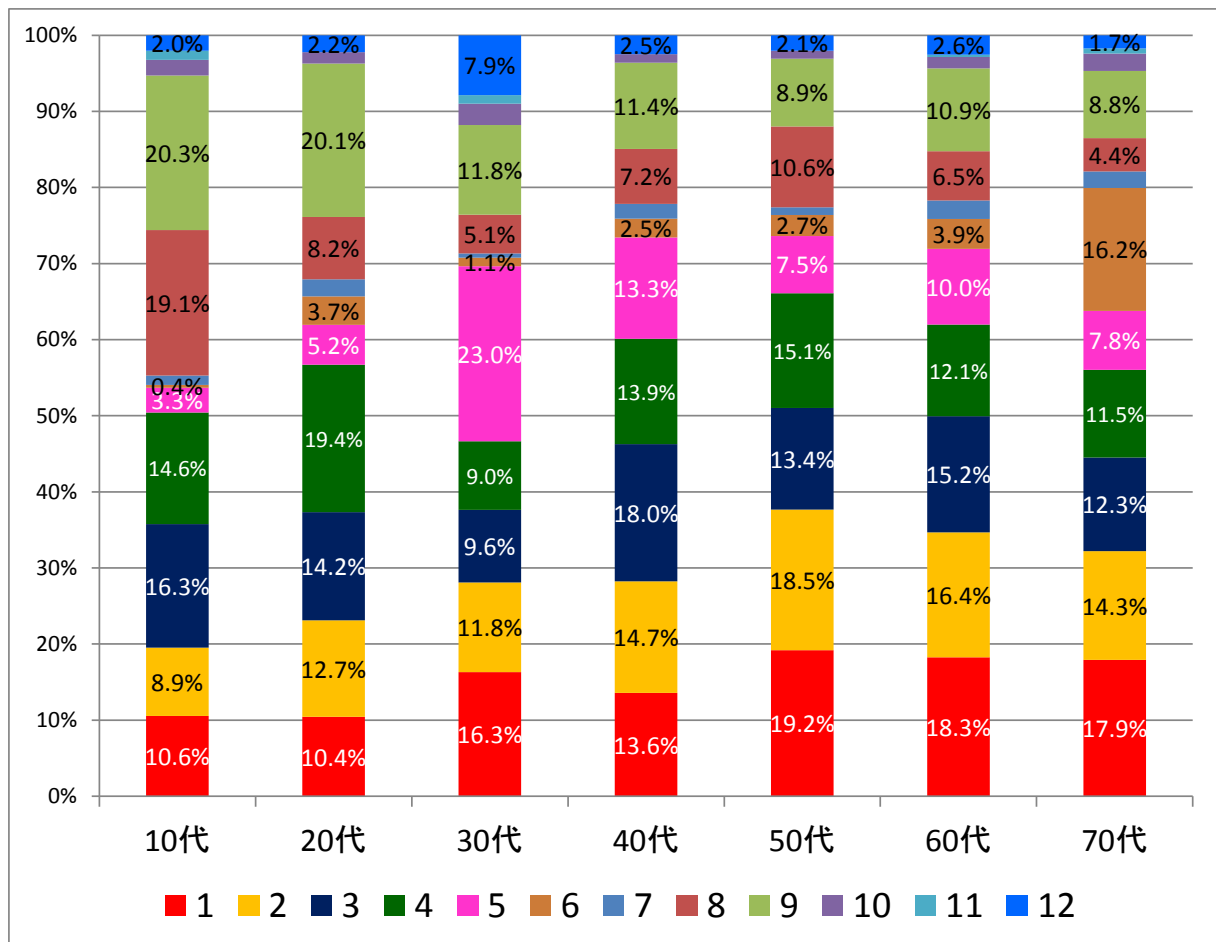
- ・フリースペースが少ないのでたくさんあればいいな（女性 60代）
- ・結構来館者が多いのもう少しすわるところがほしいです。（女性 70代）
- ・調べものができたり、勉強ができる機の確保。昔の新聞がパソコンでみれたりできたらいいかと。本を読んで交流のできるイベントがあればいいが（女性 40代）
- ・空調を快適に 床の素材（みんなにやさしく）（女性 50代）
- ・子供が利用しやすいようにしてほしい。（女性 60代）
- ・予約した本の受取、返却のみの場合、30分以内の駐車ができる場所、又はシステムが欲しい（男性 70代）
- ・すわるスペースがない。イスをもっと設置してくれや！せまいスペースでゆっくりできへんや！（男性 60代）
- ・大きな地下書庫が必ずあるように。後ろカウンター内部に予約本を積んであるのや予約の本をさがしに行ったりするのがせまくてとっても大変そうなので、その動線をもっと楽になるようにしてあげてください。（女性 70代）
- ・西神の人口規模に比べると蔵書数が少ないように感じます。また、学習、読書できる机や持込みで飲食できるスペースがあると嬉しいです。（女性 40代）
- ・本棚の下の方にある本は取りにくい。（高齢のため足をまげにくい）（女性 70代）
- ・選んだ本を入れて移動できるカート。借りた本を一時的に置いて買い物などができるような無料ロッカー。本を消毒する機械の導入があればありがたいです。（女性 40代）
- ・次の図書館では緑をふやす自然光をとり入れる等、建物のデザインにもこだわってほしい。知的な空間にしてください。（女性 30代）
- ・お話しの会（季節のお話しの会）のスペースが今は絵本コーナーの一角なので専用のスペースがほしい。くつろげるスペースの設置、クラシックのBGM（小さな音）、観葉植物（女性 50代）

D. その他・・・・・・・・・・35件（13.1%）

(2) 地域でのアンケート

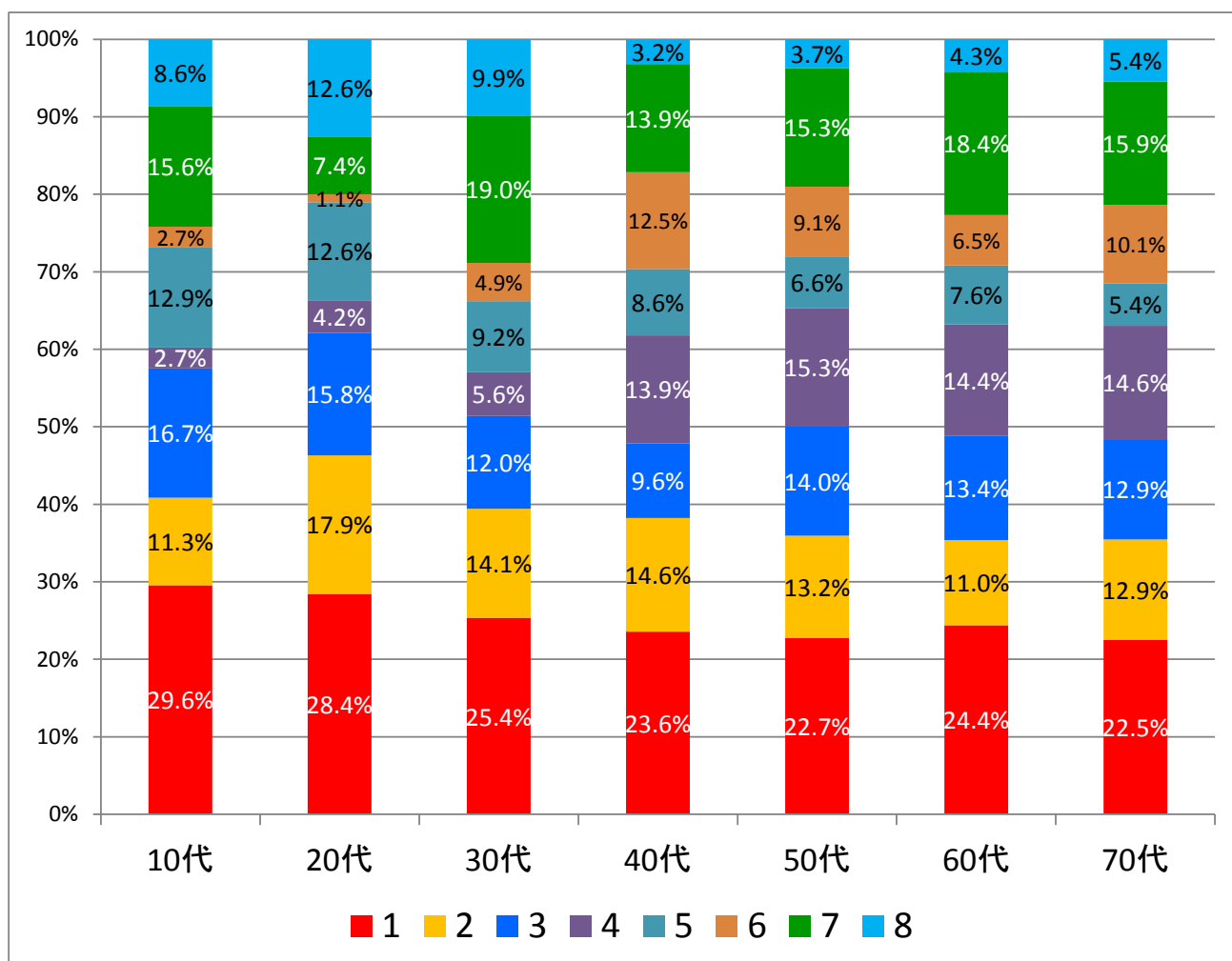
①新しい図書館の施設や設備に必要と思われるもの（3つまで）

		10-	20-	30-	40-	50-	60-	70-	不明	計
1	大勢の来館にも余裕のあるスペース	26	14	29	49	56	121	134	1	430
2	読書のためのベンチや椅子	22	17	21	53	54	109	107	1	384
3	調べものや学習するための机	40	19	17	65	39	101	92	1	374
4	静かな読書・学習環境	36	26	16	50	44	80	86	0	338
5	子供連れで気兼ねなく利用できる環境	8	7	41	48	22	66	58	0	250
6	本を介してのイベントや交流の場（セミナー）	1	5	2	9	8	26	121	1	173
7	ボランティア活動ができるスペース	3	3	1	7	3	16	16	1	50
8	パソコン持込みスペース（Wi-Fi 設備）	47	11	9	26	31	43	33	2	202
9	飲食ができるスペース（カフェコーナー）	50	27	21	41	26	72	66	1	304
10	独立した“おはなしの部屋”	5	2	5	4	3	10	17	1	47
11	対面朗読室	3	0	2	0	0	2	5	0	12
12	授乳室・介護室	5	3	14	9	6	17	13	0	67



②新しい図書館の蔵書や利用に必要と思われるもの（3つまで）

		10-	20-	30-	40	50-	60-	70-	不明	計
1	豊富で多様な図書	55	27	36	66	55	142	120	3	504
2	多様な雑誌や新聞	21	17	20	41	32	64	69	1	265
3	調べものに使う専門図書	31	15	17	27	34	78	69	1	272
4	地元（西区）に関する資料	5	4	8	39	37	84	78	0	255
5	電子書籍や外部データベースの利用	24	12	13	24	16	44	29	1	163
6	大活字本など	5	1	7	35	22	38	54	0	162
7	スムーズな貸出・返却（順番待行列の解消）	29	7	27	39	37	107	85	1	332
8	豊富なイベントや催しの開催	16	12	14	9	9	25	29	8	122



③地域の方からの自由意見（抜粋）

A. 蔵書や資料に関するもの・・・・・・・・・・32件（14.9%）

- ・現在3階などでいろいろの講座が行われ、多くの人に参加しているので高齢の方々を含め学びたい気持ち強い地域だと思う。そんな人たちが参考になる本が多くあればいい。特に初心者を助ける本、例えば英語以外の語学を学びやすいように簡単な絵本があればいいと思う。（女性 50代）
- ・現在小説や児童図書はある程度集められているが、他の分野、自然科学、社会科学、哲学、宗教、専門図書類は冊数が少なく偏りもあるので、広い蔵書を集め公開してほしい。（男性 60代）
- ・大阪市立中央図書館並みの蔵書量やレベル（出版日付）を望みます。明石市立図書館も参考にされたいかがでしょうか？（男性 50代）
- ・専門書 本の多さより特化した個性のある図書館。例 子供の絵本（バリエーション）、高齢者が通いたい読みたい本を多く（女性 60代）
- ・洋書や英語の絵本など取りそろえて欲しい。（女性 30代）

B. 利用や運営に関するもの・・・・・・・・・・31件（14.4%）

- ・西図書館は登録カウンターに申し出た後、貸出カウンターにならびなおさなければ予約本が受け取れない等、他の図書館に比して著しく使いにくいので予約受け取りはしない。来館者数に対してスペースも狭すぎる。中央図書館まで行くのは遠いので西の拠点になるような他の区の図書館より大きく中央図書館と同じレベルのレファレンスもやってくれるような図書館にしてほしい。（女性）
- ・毎月、幼児と乳児の子供を利用して頂いています。子どもスペース（クッションが敷いてあるようなスペース）、低い椅子、バギーが通れるスペースを確保頂けると小さいお子さんがいる家庭が足を運びやすくなると思います。（男性 30代）
- ・老若男女問わず全世代の方が利用できる図書館が望ましいです。（男性 50代）
- ・図書館は本を利用し学習する場所である。との原則をくずさないで欲しい。カフェや催し場もあっても良いとは思いますが、それはあくまで二次的で“図書館では静かにする”とのルールをこわさない物であって欲しい。（女性 60代）

C. 施設や設備及び立地に関するもの・・・・・・・・・・108件（50.2%）

- ・絵本コーナーにおいてある大型本や紙芝居を子供が気に入っているのですが、他の方の迷惑になるといけないので、声を出して読んであげることができません。「ここは声をだして読んでいい場所ですよ」というコーナーがあればいいなと思います。（女性 40代）
- ・調べものをする為の机、パソコン持込み可能な環境が必須。（男性 70代）
- ・図書館としての静かな読書、学習環境などの基本的なスペースはもとより、高齢化社会が進展していますので、市民の方々のボランティア活動や本を介しての交流スペースを備えていただきたいと思います。（男性 60代）
- ・おしゃれな雰囲気を意識した部屋にして欲しいです。（男性 40代）
- ・子どもを預けることの出来る保育施設（ミニ保育園）のようなものが良かった方が良く思う。（女性 30代）
- ・個々で利用できるスペースやグループで利用できるスペースなど多彩な利用スペースを用意して欲しい。空間を広く感じられるようにして欲しい。（男性 60代）
- ・勉強できるスペースを増やしてほしいです。（男性 10代）
- ・車で利用しやすいように駐車場の余裕のある施設を希望します。（男性 70代）

D. その他・・・・・・・・・・44件（20.5%）

第3章 (仮称)新西図書館整備検討会

新しい西図書館について、有識者等から、コンセプトや基本的な方針、機能等について幅広く意見を求めることを目的として、平成30年7月から9月にかけて「(仮称)新西図書館整備検討会」を開催しました。検討会の内容と意見のまとめについては、図書館のホームページで、別途、公開しています。

1. 検討会委員名簿

内橋 一恵	神戸常盤大学 研究員	
芝 和子	NPOユースプラザ西 2009 理事長	
則長 訓江	西図書館ボランティア	
畑 友洋	神戸芸術工科大学准教授	
廣岡 徹	兵庫教育大学教職大学院講師 (元教授)	
村岡 正和	株式会社神戸デジタル・ラボ取締役	(順不同)

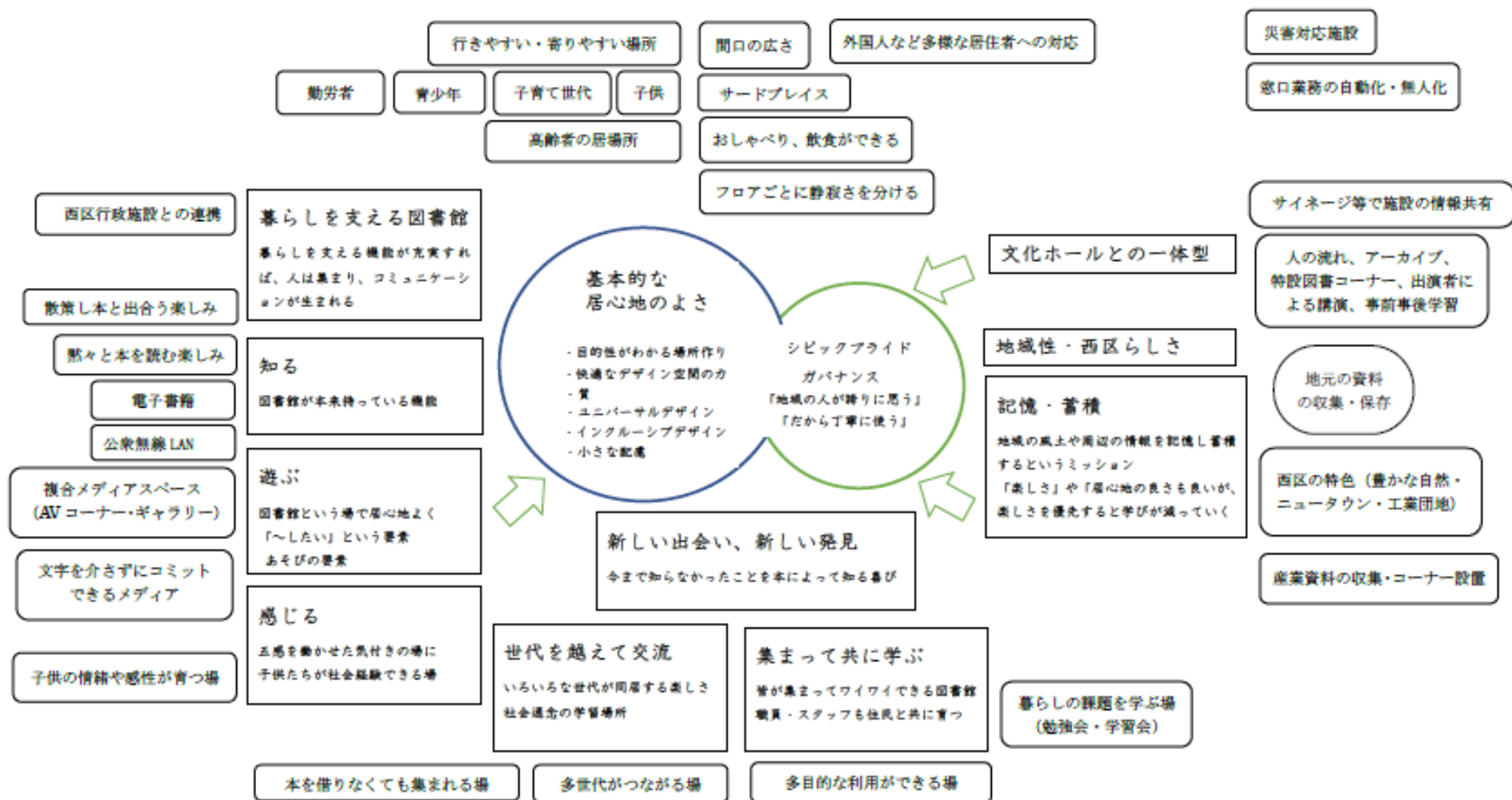
2. 検討会開催記録

	日程	時間	内容
第1回	7月19日(木曜)	15時~17時	西図書館に求められる機能について ホールとの連携について
第2回	8月23日(木曜)	10時~12時	空間デザイン、ゾーニングについて コンセプト、基本方針等について
第3回	9月11日(火曜)	10時~12時	コンセプト、基本方針等について

■意見抜粋

- (1) 西図書館に求められる機能について
 - ・「知の殿堂」も良いが、少し間口を下げて気軽に立ち寄れるようなものにしてはどうか。
 - ・世代を越えて集えて、しかも本があって楽しめる、そのような場所が求められている。
- (2) ホールとの連携について
 - ・ホールに来たついでに図書館に、あるいは図書館に来たらホールにというような、自然な人の流れを作る建て方が大きな付加価値になる。相互補完ができればユニーク。
- (3) 空間デザイン、ゾーニングについて
 - ・快適で優れた空間デザインができれば、住民が施設を自慢に思い大切に使うなど、良い方向にガバナンスが働く。個々の場所の目的・機能がわかるデザインにすることが必要。
- (4) コンセプト、基本方針等について
 - ・中高生を呼び込むのは大きな課題。図書館が、彼らにとって豊かな社会経験を得る場所であってほしい。子育て世代も大切にしてほしい。
 - ・基本的な居心地の良さを準備してほしい。

3. 検討会での意見の整理



第4章（仮称）新西図書館整備に必要な視点

市民ニーズの把握や検討会でのご意見などから見えてきた（仮称）新西図書館整備に必要な視点です。

1. 高い読書意欲への対応

アンケート結果にもあるように、多くの方が、絵本から専門書まで広い範囲での蔵書の拡充を望んでいます。予約本を取り寄せて借りるだけでなく、目の前に並ぶ豊富な種類、冊数の本の中から選びたいという市民ニーズに対し、人口規模に応じた蔵書を備える必要があります。

2. 読書環境の改善

狭く座る場所がないという課題の解決には、まずは一定の規模を持つ図書館になる必要があります。加えて、居心地よく読書を楽しんでもらうためには、質の良い読書空間づくりが必要です。静謐さを求められる場所と多少のにぎやかさが許容される場所のゾーニングを行うことや、場の目的を使う人にも伝える空間デザインが必要です。

3. 集う場所としての機能

アンケート結果や検討会の意見の中でも、図書館に「集う場所」としての機能が求められています。本があることで人が集まり、時には共に学ぶ場所として、集うことを目的としたエリアや諸室を持つ必要があります。

4. 青少年や子育て世代の利用

神戸市内のどの図書館でも、また全国的にも、10代20代の若い世代の利用が少ない状態です。部活や塾やアルバイトで忙しい彼らをどのようにして図書館に足を向けさせるかが課題です。また、現在の西図書館は子育て世代にとって使いやすい場所とは言えません。彼らに利用しやすい図書館となるよう、施設的な面とサービス内容の面と両方で考えていく必要があります。

5. 窓口の混雑緩和

新しい図書館になれば今以上に多くの来館者が見込まれます。アンケート結果でも要望が多くあった、カウンターで利用者を長く待たせない仕組みを考える必要があります。

第5章 (仮称) 新西図書館のコンセプト・基本方針

1. コンセプト

新しい出会い、新しい発見がある、本の「広場」

図書館には、さまざまな人々が本や情報だけでなく時には憩いを求めて訪れます。図書館は、世代、職業、居住する地域等の異なる人々が、自由に集まることができる、本のあがる「広場」です。そこでの本との出会い、本を通しての新しい出会いや発見が、新たな市民活動につながります。

図書館にある本や情報、そして場所そのものが、垂水区から分区して以来の西区のキーワード、人々の「住み」「働き」「学び」「憩う」を支えます。自然豊かな地域から工業団地、ニュータウンなど、さまざまな地域からなる西区において、地域の人々が集まりつながらる「広場」のような図書館、その存在を自慢できる図書館を目指します。

2. 基本方針と機能

(1) 市民の暮らしと、生涯にわたっての学びを支える図書館

- ①進学、就職、子育て、仕事、健康など、ライフステージごとに生まれる課題を解決する資料のほか、成人の「学び直し」を支援する資料を、多様に収集・提供します。紙媒体だけでなくデータベースサービスなど電子資料も提供します。
- ②本に関するイベントの開催や展示など、多様な手段で本との出会いと発見を創出します。
- ③豊富な図書資料を整理・保存し、市民の生涯学習のために書庫機能を備えます。多くの本を保存できる機能的な書庫を備えることで、市民が豊富な蔵書を生涯学習のために速やかに利用できる環境を整えます。
- ④電子書籍など紙媒体以外のメディアについては、従来のサービスが手薄な分野への活用を目的に、技術の進展や業界の動向に留意しつつ、導入を検討します。

(2) 青少年や子育て世代が利用しやすい図書館

- ①子供たちが、本の世界に遊び、知識を得、五感を育む場所として、多様な本を揃え、さまざまなイベントを準備し、また、成長に応じた利用ガイダンスを行うなど、将来の図書館利用者を育てます。

- ②公衆無線 LAN が利用できるなど、現在の西図書館で特に利用の少ない青少年が、気軽に利用でき、立ち寄りたくなる場所を目指します。
- ③グループで学習したい、親子でくつろいで絵本を楽しみたい、静かな環境で読書を楽しみたいなど、多様な利用目的をかなえ、それぞれが居心地よく感じられるゾーニングを行います。
- ④多少の賑やかさがあり飲食も可能な交流エリアなど、世代を越えて多目的に集える場を設けます。
- ⑤ICT を活用し、窓口の混雑を緩和する設備を導入するなど、スムーズに利用できる環境を整えます。

(3) 集い、共に学び、地域をつなぐ図書館

- ①ユニバーサルデザインの考え方にもとづき、障害のある方や専門家の意見を伺いながら、多様な利用者が集う場所として快適な空間をつくります。
- ②西区にある社会教育施設や大学、地元企業からなる団体等と連携し、それぞれの得意分野を活かした連続セミナーを開催するなど、地域の人々が集い、共に学び、つながることを支援します。
- ③市民に向けて開かれた空間を準備し、図書館で学んだ人たちが相互啓発と交流する環境を整えます。
- ④図書館ボランティアが、交流しながら生き生きと活動できるよう環境を整えます。

(4) 西区の歴史や文化、魅力を伝える図書館

- ①さまざまな特性の地域で成り立つ西区に関する資料を、地域の記憶装置として収集蓄積し、地元への理解と、地域の魅力の再発見へつなげます。
- ②郷土資料や行政資料のほか、地域の産業である農業、工業に関する資料や地元企業関連の資料を収集、展示するコーナーを設け、区役所と連携し、地域の交流を資料・情報面から支援します。

(5) 文化・芸術を身近に感じられる図書館

- ①併設の文化・芸術ホールと連携し、催しと関連する資料展示やミニ講演会の開催、エントランス付近でのデジタルサイネージでの相互の催し物紹介など、図書館とホールの相乗効果で文化・芸術を楽しむ雰囲気醸成します。
- ②地域の文化・芸術団体と連携し、新たなつながりから生まれるものを、資料収集やイベント企画等の図書館活動に還元します。

第6章 新しい図書館に求められる規模と機能

1. 規模

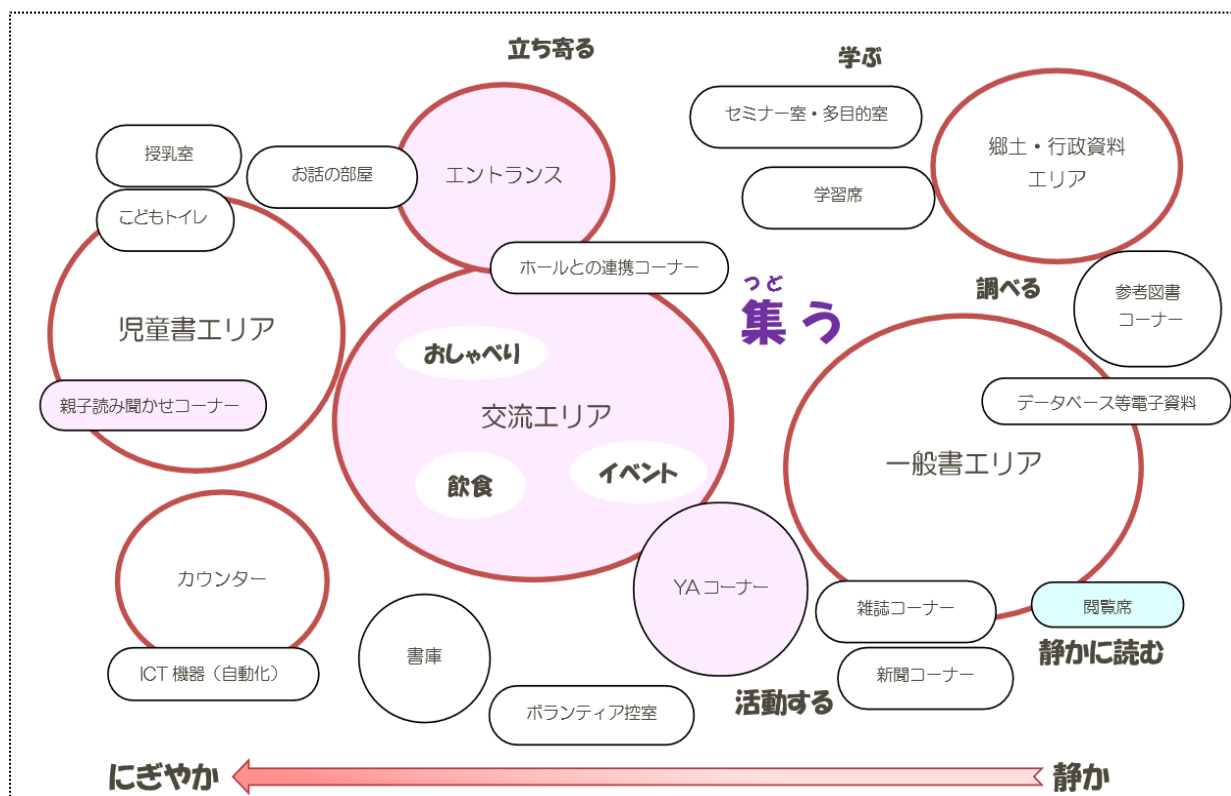
新しい西図書館は、今後、コンペによって決定された民間事業者によって、マンションと文化・芸術ホールと共に一体的に整備される予定です。図書館の具体的な規模等は現段階では未定ですが、来年度移転拡張してオープン予定の北神図書館（現在は北図書館北神分館）や平成25年に移転開館した東灘図書館を参考に、さらに神戸市西部地域の魅力ある拠点図書館として、床面積は約3,000㎡、蔵書冊数は約30万冊の規模を目指します。

2. 機能・設備等

現在の西図書館には無いもので、基本方針や機能面から、新たな図書館には必要と思われる機能・設備は、以下のとおりです。

- ・ 多様なニーズに応える多種の座席（読書専用席、学習席、グループ学習席等）
- ・ セミナー室（大・小）
- ・ 書庫
- ・ 飲食が可能な交流エリア（飲食スペース、イベントスペース）
- ・ データベース端末や電子書籍専用端末
- ・ 公衆無線LAN利用席
- ・ 独立したお話の部屋
- ・ 親子の読み聞かせコーナー
- ・ 多機能トイレ、こどもトイレ、授乳室
- ・ ボランティア控室
- ・ デジタルサイネージ
- ・ 自動化装置（自動返却機、予約図書セルフ受取りコーナー等）

3. 機能と音のゾーニング



今後に向けて

平成 33 年秋頃に、西区役所の新庁舎移転整備が予定されています。この機会を一つの契機と捉え、西神中央のセンターエリアのリノベーションに取り組んでおり、その一環として、かねてより要望のあった音楽や舞台芸術の西の拠点となるような本格的な文化・芸術ホールの新設と、新しい西図書館の建設、さらにマンションの建設が民間活力を活用して一体的に進められます。

施設整備にあたっては、できるだけ早期の整備に向け、今後、開発・設計・建築工事までの全てを担う民間事業者の公募を予定しています。

公募において、事業者から本「(仮称)新西図書館基本計画」に基づいた提案がなされ、開発・設計・建築工事が進められます。

本計画は、新しい図書館の基本的な方向性や機能を示すものであり、事業の進捗に伴い、より具体的なサービス計画などが必要です。今後も市民の意見を伺いながら、開館に向けて必要な計画を検討してまいります。

(仮称) 新西図書館基本計画

平成 30 年 12 月

問合せ先 神戸市立中央図書館

〒650-0017 神戸市中央区楠町 7 丁目 2-1

電話 (078) 371-3351

FAX (078) 371-5046